

ふるさと 故郷しまばら二十歳の集い



新しい門出を自らの手で

地元出身者ら37人でつくる実行委員会の主催で「故郷しまばら二十歳の集い」が1月3日、島原文化会館で開かれ、スーツや振袖姿の361人が参加しました。実行委員会は、昨年9月から式典の企画・準備を進め、当日は式典進行や受付業務などで活躍しました。

また、式典冒頭、能登半島地震で犠牲になった方々へ黙とうをささげ、会場では実行委員が被災者支援のための募金活動を行いました。アトラクションでは、二十歳の飛び入り参加者と島農和太鼓部の皆さんが、力強いパフォーマンスで会場を盛り上げ、林田響さんのピアノ伴奏で東京藝術大学音楽学部声楽科2年の前田梨緒さんが国歌と島原市民の歌を歌いあげると会場からは盛大な拍手が送られました。



義援金の募金活動

式典では、実行委員長を務めた駒澤大学2年の下田慎太郎さんが能登半島地震の被災者へのお見舞いを述べたあと、この日を無事に迎えられた事への感謝の気持ちと、仲間との再会の喜びを語りました。

そして、「島原城が新しい時を刻みだす築城400年の年、また、コロナ禍を経験し、価値観の多様化が進んでいる今、私たちは新しい基準や価値観に対応する能力が求められています。そのような中、これまでよりも活気あふれる島原にしていきたいために、何ができるかを考え、行

動を起こしていかなければならないと思います。私ごとにはありませんが、将来は、教員になる事ができましたら、地元島原に帰り、微力ながら故郷島原のために尽力したい。」と決意を述べ、「今までの自分の努力を信じ、支えてくれる仲間を信じ、強い心を持って乗り越えて行きましよう。」と呼びかけました。



故郷しまばら二十歳の集い実行委員会の皆さん

夢に向かって
頑張ります♪

